



女性をモデルにメイクの仕方を伝授する佐々木房枝さん(左) 〓宮古市の鎌ヶ崎公民館で



お年寄りも若々しく

お年寄りでももっと若々しくと、県理容生活衛生同業組合(湊正美理事長)は4日、宮古市の鎌ヶ崎公民館で、化粧法やシャンプーの仕方などをプロが教える講座を開いた。東日本大震災の津波で家を失うなどした被災地の住民約40人が受講し、「早速、試してみよう」と若返りに自信を深めた。

宮古 プロが化粧や洗髪法伝授

震災後、被災地のボランティア活動に取り組んでいる地域貢献の一環。「交流サロン」と題して県内の美容業、すし業、中華料理の各生活衛生同業組合の協力を得て開いた。「プロが教える5歳若返りメイクの仕方」では、美容業組合宮古支部長の佐々木房枝さんが講師。「年を取ると皮膚に張りがなくなります。そのためファンデーションで日々の手入れを」と、参加したお年寄りをモデルにして宮古弁で笑いを取りながら話した。

「毛髪診断&プロが教える正しいシャンプーの仕方」は理容組合宮古支部長の黒田豊さんらを講師に、シャンプーのほかマッサージュの上手な仕方を教わった。この後、すし業組合からは、おいしい太巻き作り方、中華料理組合からは、本格中華料理作り方をそれぞれ学んだ。湊理事長はあいさつで「震災を体験された方々は、復興が進んでも家に閉じこもりがちです。講座を通じて生活の質を少しでも高めてほしい」と呼びかけた。【鬼山親芳】